



筑波大学新聞 第261号

雑誌名	筑波大学新聞
号	261
発行年	2007-05-14
URL	http://hdl.handle.net/2241/00123281

筑波大学新聞

第261号

編集責任
筑波大学新聞
編集委員会
委員長 中村紀一

TEL: 029(853)2040・6699
E-mail: shinbun@sakura.cc.tsukuba.ac.jp
月刊

発行所
筑波大学
茨城県つくば市
天王台1-1-1

大学院 共通科目を導入へ

「教え学ばせる」教育を強化

豊かな人間性を持った人材の育成や、研究倫理に関する教育指導を行うことなどを旨として、平成20年度から「大学院共通科目」を導入することが決まった。3月15日に行われた第39回教育研究評議会で承認された。今年度は試行的に各研究科が開設する科目のうち「生命・環境倫理関係科目」など29科目を「大学院生に履修を推奨する科目」として選定した。今年度中に、全学的な委員会として常設の「大学院共通科目準備委員会」を設置する予定だ。

20年度の開講が予定される科目は、生命倫理・科学倫理▽知的財産関係▽サイエンスコミュニケーションによる推奨や、各自の興味に基づいて選択。授業では最低1時間アフィスカッションの時間を設ける方針だ。受講者数は各科目30～50人ほどを想定している。

今年度は試行的に、各研究科の開設科目のうち29科目を「大学院生に履修を推奨する科目」として設置。目玉となるのは、国立科学博物館との連携による「サイエンスコミュニケーション」など。



約3000本のつつじが咲く。ゴールデンウィークには多くの観光客でにぎわった(筑波山で) (撮影・関田航＝体育専門学群)

つくば
歳時記

紙面から

国総研と協定締結
reflection展 古民家に巨大なイチゴ5
柔道 福見、谷を下して優勝
ズームアップ 新歓トラブル
大学問題を考える 便覧・入学式
石打研修所 民間に業務を委託

11 10 10 9 5 2

特集 6,7

自転車問題
現場の今を見つめる

ミニ特集 3

新学群長が薦める一冊

定するのは初めてで、国立科学博物館にとっても大学との連携は初の試み。

泉理事・副学長が担当する「科学技術・学術政策概論」は、生命環境科学研究所が1学期の集中授業として新設する。泉副学長は元文科省官房審議官で、06年に本学に着任。授業では政策専門家の立場から講義を行う。省庁からの出向で、大学院の教員でない理事・副学長が授業を担当するのは、本学では初めて。

大学院共通科目について

は、昨年9月に設置された「大学院共通科目検討ワーキンググループ(WG)」(委員長＝白岩善博教授・情報生物)が検討を進めてきた。これは、文科省が唱える「大学院教育の実質化」と「研究者倫理教育の実施」に対応したものだ。

大学院ではこれまで、整えられた環境の中で「教え学ばせる」教育が主流だった。しかし近年、基本事項を「教え学ばせる」教育の必要性が高まってきた。また、危険を伴う研究を行う中で

社会への説明責任や、高い倫理性が要求されている。今後は新設科目の担当教員の確保や、外部の講義の単位化を進めることが課題だ。今年9月までに20年度開設科目の具体案をまとめることを目指す。

WG委員長の白岩教授は「最近の院生は、幅広い能力を伸ばす努力を自主的にしないように思う。成績評価は厳しくしたいが、社会の大学院生に対する期待に答えるために、ぜひ受講してほしい」と語った。

他研究科に同時在籍

デュアルディグリープログラム

博士後期の学生を対象

博士後期の学生が、他の研究科の博士前期や修士に同時在籍することができ

その結果、教育内容が学系(現在の研究科各専攻)の研究内容と完全に一致しない形で、学群は組織された。しかし本学の予算は、各研究科に下りる。各学群は研究科から予算をもらって教育活動を行うが、このよう

るデュアルディグリープログラム(DD)を、平成20年度から実施することが、4月19日に行われた第40回教育研究評議会で承認された。専攻分野に関連した他分野について学ぶ環境を提供することで、新領域を切り拓く研究者や高度専門職業人の育成をはかる。

履修モデルとしては、博士課程システム情報工学研究科でロボットについて研究する学生が、ベンチャーの起業を目指し、修士課程の芸術研究科でロボットのデザインを学ぶといったものがある。また、博士論文で必要となる高速計算やデータ管理などの技術について修士論文をまとめ、博士と修士の両方の学位を取得することも想定される。

DDの履修は、博士後期の研究科における審査を通じていきなり」と話した。

過し、さらに博士前期や修士の入学試験に合格した者などに認められる。入学金や授業料は、博士後期のみに徴収する方針だ。

◆

大学院共通科目やDDは、大学院教育の実質化に対する全学的な取り組みである「筑波大学デュアルディグリープログラム」の一つ。同プランでは、今年度から、本学大学院に進学を希望する学群生の大学院授業科目の履修や、社会人の長文を読み、地理の時間はセンター試験の過去問を毎回解いた。実践や学問としての面白さは無視された▼勉強嫌いだ。私は、体育ならば興味を持てるだろうと、体育専門学群に入學した。大学こそは勉強しようと思気込んだが、挫折。かつてのただ大学に合格するためのだけの勉強が、気づけば、ただ単位を取るためのだけの勉強に変わっていた▼それでも実技は面白かった。周囲の運動レベルは高く、その中で自分が成長できた。弓道やハンドボールといった未経験のスポーツに、新たな発見があった。自分から何かを吸収しようという姿勢があった▼授業中、多くの情報が教室に流れる。それは野球のノックに似ている。容赦なく打たれ続ける球に、食らいつく気力と集中力。その気持ちになれば、いくら講義を聞いても頭に入らない▼かつては大学受験というきっかけがあった。しかし勉強とは本来、自分の興味や目標という、自発的なものではないうか。

改革元年

②

学群改組を追う

「学群」と「学類」。「新構想大学」である本学の教育体制の特徴としてこの二つがまず挙げられる。学類を越えた科目履修など、学部制にはない特色がある。

文理混合型のナンバー学群は小さな総合大学に例えられる。開学当初は、専門の異なる教員や学生が同じ組織に所属することが、教員や学生にとって刺激になった。しかしその後、ナンバー学群は、学類間の調整機能や大学本部との連絡機能しか発揮できない状況となった(03年、「筑波大学の将来設計」最終報告

ナンバー学群 学群の定義に長年の疑問 実質的な機能を果たせず

ナンバーク学群のわかりにくさは、学内外から指摘されてきた。「筑波大学の将来設計」では、このわかりにくさが「競争力向上の障害となっている面を否定できない」と、「教育組織としての役割を強化し、アイデンティ

問の基礎領域を扱っている」という共通認識が、第一学群にはあった」と語る。また、海老原義彦前第三学群長(CS)は「第三学群は工学系という共通概念の下、まとまりのよい学群だったと語る。しかしいずれの学群



した昭和48年に制定された「国立73年の事務所開き」「新構想大学の始まり」(筑波大学30年史編集室提供)なねじれを内包した組織で、さまざまな矛盾が表れた。

例えば第二エリアのキヤリアデザインルームは、05年に生命環境科学類)「ナンバー学群」という大きな実験は、役割を終えた」「そもそも改組自体、すべきでなかった」――さまざまな思惑が交錯し、学群のありかたを総括しきれないまま、新学群は始動した。(本紙・齋藤竜太比較文化学類)

筑波おは

高校の必修科目履修問題に揺れた昨年の大学受験。公立高校の8%、私立高校に至っては、25%もの高校が未履修で問題になった▼思えば2年前、受験を控えた私も、ただ大学に合格するためだけの勉強に没頭した。教員側にも、そういった認識があったと思う。英語の時間はひたすら長文を読み、地理の時間はセンター試験の過去問を毎回解いた。実践や学問としての面白さは無視された▼勉強嫌いだ。私は、体育ならば興味を持てるだろうと、体育専門学群に入學した。大学こそは勉強しようと思気込んだが、挫折。かつてのただ大学に合格するためのだけの勉強が、気づけば、ただ単位を取るためのだけの勉強に変わっていた▼それでも実技は面白かった。周囲の運動レベルは高く、その中で自分が成長できた。弓道やハンドボールといった未経験のスポーツに、新たな発見があった。自分から何かを吸収しようという姿勢があった▼授業中、多くの情報が教室に流れる。それは野球のノックに似ている。容赦なく打たれ続ける球に、食らいつく気力と集中力。その気持ちになれば、いくら講義を聞いても頭に入らない▼かつては大学受験というきっかけがあった。しかし勉強とは本来、自分の興味や目標という、自発的なものではないうか。

国総研と協定締結

共同研究をさらに推進

人文・社会科学の分野でも

国総研は国土交通省国士技
術政策総合研究所（国総
研・つくば市旭）と4月11
日、包括的な連携・協力協
定を締結した。今後は人
文・社会科学分野を含めた
総合的な共同研究、人材の
育成・交流の円滑な実施を
目指す。国総研が大学と協
定を締結したのは本学が初
め。



協定に調印する望月所長と岩崎学長（経営協議会室で）

国総研では、住宅・社会
資本分野のさまざまな技術
政策に関する研究を行って
いる。本学はこれまで、社
会工学類や工学システム学
類の授業に国総研の研究者
を講師として招いたり、シ
ステム情報工学研究科など
において共同研究を実施す
るなど連携を進めてきた。

国総研の望月常好所長は
「これまで理工系の分野
で個別に共同研究を行って
きた。今後は人文・社会科
学分野についても情報を得
やすく」と語った。

岩崎洋一学長は「つくば
研究学園都市における教育
研究と政策支援に貢献する
ことのできる。研究者にと
って現実的な問題に對する
テーマを見つけるチャン
スになるだろう」と話した。

岩崎洋一学長は「つくば
研究学園都市における教育
研究と政策支援に貢献する
ことのできる。研究者にと
って現実的な問題に對する
テーマを見つけるチャン
スになるだろう」と話した。

岩崎洋一学長は「つくば
研究学園都市における教育
研究と政策支援に貢献する
ことのできる。研究者にと
って現実的な問題に對する
テーマを見つけるチャン
スになるだろう」と話した。

岩崎洋一学長は「つくば
研究学園都市における教育
研究と政策支援に貢献する
ことのできる。研究者にと
って現実的な問題に對する
テーマを見つけるチャン
スになるだろう」と話した。

岩崎洋一学長は「つくば
研究学園都市における教育
研究と政策支援に貢献する
ことのできる。研究者にと
って現実的な問題に對する
テーマを見つけるチャン
スになるだろう」と話した。

岩崎洋一学長は「つくば
研究学園都市における教育
研究と政策支援に貢献する
ことのできる。研究者にと
って現実的な問題に對する
テーマを見つけるチャン
スになるだろう」と話した。

記者が語る新聞の現状

「最前線」の話に大反響

ジャーナリズム座
講

マスコミの第一線で活躍
する本学のOB・OGを講
師に招く、社会学類開設の
「ジャーナリズム講座」青木
彰記念・ジャーナリズムと
メディアの現在ⅠⅡⅢが今
年度より開講された。学
期完結型の科目で、1学期
のテーマは「現状と課題」。

4月18日の第1回講義
では、講師に日本経済新聞

社経済部記者の原田亮介
さん（昭和56年度比文卒）
を招き、「新聞の現在と課
題」をテーマに講義が行
われた。会場となった1H
201教室には、300人
を超える受講者が集まり、
椅子に座れない学生が退出
して述べられた。近年、イ
ンターネットがメディアと
した。

講義では「インターネッ
トの登場によって、現在新
聞がどのような立場に置か
れているか」という話題か
ら、ネット社会の今後につ
いて述べられた。近年、イ
ンターネットがメディアと
した。

講義を聴いた田中理恵子
さん（人文3年）は「筑波
大出身のマスコミ関係者の
多さに驚いた。記者には体
力が必要という話が印象深
かった」と語った。同講義
は、2学期は「実践と可能
性」、3学期は「改革と展
望」というテーマで開講さ
れる。

今年度の入所者は、附属
病院勤務の研修医や看護
師、大学院の教職員などの
子どもたちで、男子が3人
で女子3人。現入所者の6
割は医学系の教職員の子ど
もたちだ。

人事課によると、大学側
は保育所の設置に伴い、教
職員がそれまで児童を預け
ていた認可保育所から、児
童を転園させていると予
想していた。しかし、「そ
れまで所属していた保育所
から出たがらない児童が多
かったことが、入所者数低
迷の一因なのではないかと
いう。

現在入所者のほとんどが
0-1歳の子どもたちだ。
人事課は「入所者数の低迷
は経営上苦しいが、大学や
病院に設置された保育所の
場合、同様の問題はよく見
られることだ」という。0
歳児からの新入所者が今後
数年かけて順次入所すると
ともに、充足率の向上を期
待しているという。

今年度の新規入所者の子ど
もたち

新任 副学長 に聞く

4月1日付で、組織・
人事担当副学長に、波多野
登雄教授（国際）が就任し
た。今後の課題や抱負を聞
いた。

——就任にあたっての抱負
を。

必要だ。2020年に大学
があるべき姿へのロード
マップである「ビジョン
2020」を年度内に作る
うとしている。その中に外
国語教育のあり方や留学生
の受け入れ態勢、東京地区
と一体となった教育研究体
制、海外の大学との組織的
連携のあり方、学群と大学
院の連携を長期的にどうし
ていくかを盛り込むことが
今年の課題だ。

——教員の評価について。
本学では今年度に教員の
評価を試行する。来年度か
ら本格的に導入されるが、
これは他の大学と比べて先
行的な戦略ビジョンが

端的な取り組みといえる。
個々の教員の自己点検・自
己啓発と、活動実績の大学
としての正当な評価が目的
だ。3年ごとに教育研究、
社会貢献という3点につい
て自己点検していたこと
になる。

——事務職員と教員の関係
について。
今までは事務と教員の間
に壁があった。教育組織の
合理化といった問題は、事
務と教員が同じテーブルで
話すべき問題だ。そのよう
な組織編成に関係するよう
な問題では教職員が一緒に
考えていくようにしたい。

——学生へメッセージを。
法人化に伴い、各大学に
は自立した大学運営が求め
られている。学生の声も反
映させ、教育をサポートす
るためのシステムを作るた
めに教員、事務、学生が一
体となって議論する必要が
ある。（本紙・篠崎真希Ⅱ
国際総合学類）

教員の自己点検と評価を



——就任にあたっての抱負
を。

必要だ。2020年に大学
があるべき姿へのロード
マップである「ビジョン
2020」を年度内に作る
うとしている。その中に外
国語教育のあり方や留学生
の受け入れ態勢、東京地区
と一体となった教育研究体
制、海外の大学との組織的
連携のあり方、学群と大学
院の連携を長期的にどうし
ていくかを盛り込むことが
今年の課題だ。

——教員の評価について。
本学では今年度に教員の
評価を試行する。来年度か
ら本格的に導入されるが、
これは他の大学と比べて先
行的な戦略ビジョンが

端的な取り組みといえる。
個々の教員の自己点検・自
己啓発と、活動実績の大学
としての正当な評価が目的
だ。3年ごとに教育研究、
社会貢献という3点につい
て自己点検していたこと
になる。

——事務職員と教員の関係
について。
今までは事務と教員の間
に壁があった。教育組織の
合理化といった問題は、事
務と教員が同じテーブルで
話すべき問題だ。そのよう
な組織編成に関係するよう
な問題では教職員が一緒に
考えていくようにしたい。

——学生へメッセージを。
法人化に伴い、各大学に
は自立した大学運営が求め
られている。学生の声も反
映させ、教育をサポートす
るためのシステムを作るた
めに教員、事務、学生が一
体となって議論する必要が
ある。（本紙・篠崎真希Ⅱ
国際総合学類）

——就任にあたっての抱負
を。

必要だ。2020年に大学
があるべき姿へのロード
マップである「ビジョン
2020」を年度内に作る
うとしている。その中に外
国語教育のあり方や留学生
の受け入れ態勢、東京地区
と一体となった教育研究体
制、海外の大学との組織的
連携のあり方、学群と大学
院の連携を長期的にどうし
ていくかを盛り込むことが
今年の課題だ。



第2回講義の様子。会場には多くの学生が集まった

ゆりのき保育所

6人が新たに入所

乳児が多数 充足率4割強

昨年12月に追越地区に開
所したゆりのき保育所に、
今年度の新規入所者の子ど
もたち

今年度の新規入所者の子ど
もたち

今年度の新規入所者の子ど
もたち

今年度の新規入所者の子ど
もたち

国立美術館キャンパスメンバーズ

常設展の観覧無料に

学生証を提示 5美術館で

本学は4月1日より、学
校教育において美術館を有
効に活用し、学生や教職員
の美術に親しむ機会をより
豊かにすることを目的とし
て、5つの国立美術館の窓口で
学生証または職員証を提示
することにより、常設展を
無料で、企画展を団体料金
で観覧できる。利用できる
国立美術館は以下の通り。
▽東京国立近代美術館（東
京・千代田区）、京都国立
近代美術館（京都・左京区）、
国立西洋美術館（東京・台
東区）、国立国際美術館（大
阪市）、国立新美術館（東京・

本学では、昨年度に引き
続き、学生の科学リテラシ
ーの向上やサイエンスコミ
ュニケーション能力の向上
を目的とした国立科学博物
館の事業「国立科学博物館
大学パートナーシップ」に
入会した。本学の学生は、
学生証を提示することによ
り国立科学博物館（東京・
台東区、入館料500円）、
筑波実験植物園（つくば市、
入館料300円）、自然教
育園（東京・港区、入館料
300円）に無料で入館・
入園できる。また、特別展
は500円の特別割引とな
る。

厚生会学生理事の福井智
広さん（比文3年）は「資
金の流れを明確にして、き
ちんと学生に還元させるよ
うにしたい」と語った。

厚生会学生理事の福井智
広さん（比文3年）は「資
金の流れを明確にして、き
ちんと学生に還元させるよ
うにしたい」と語った。

厚生会理事会

3A棟工事に伴い

7月から食堂休業

第62回厚生会理事会が3
月29日、本部棟会議室で行
われた。理事会には厚生会
学生理事で、高橋健夫副学
長（学生生活担当・当時）
や学生生活課の職員が参
加。学内の自販機の契約形
態が変更されることや、第
三エリアの食堂が7月ごろ
から休業することなどが報
告された。

学内に約130台ある自
販機について、業者と契約
する際は、これまで厚生会
を通す必要があった。しか
し2004年の法人化によ
って、厚生会を通す必要が
なくなり、企業から設置料
金を徴収することができ
るようになった。

また、3A棟が7月ごろ
から耐震工事に入るため
半年間は第三エリアの大
食堂が使用できなくなる。
対策として大学側は、弁当
販売の拡大、パン販売の移
動などに対応するという。

このような「厚食難民」問
題に関しては、全代会でも
なんらかの対策を考えてい
く方針だという。

厚生会学生理事の福井智
広さん（比文3年）は「資
金の流れを明確にして、き
ちんと学生に還元させるよ
うにしたい」と語った。

新学群長が薦める一冊

大学時代には自分のために使える時間がたくさんある。その時間を使って、新たな世界へと導いてくれる著者たちと対話してみてもいいだろうか。新学群長にお薦めの一冊を紹介してもらった。

人文・文化学群

山田 宣夫

「経済学とは何だろうか」(佐和隆光著、岩波新書、1982年、480円)

ある研究対象を扱う「理論」が、現実のデータとうまく整合しないという矛盾に突き当たったとき、その矛盾は、既成の理論を部分修正することによって解消できるものなのか。それとも、その矛盾が当該の理論にとってある意味で致命的な問題を提起するが故に、理論そのものが何らかの新しいパラダイムによって取って代わられることになるのか。この問題は、科学的な研究を前提とするどの学問分野にも内在する根本的な問題であらう。

人間学群

宮本 信也

「罪と罰」(ドストエフスキ著)

私たちは、似たような論理で行動している人々を、現代の日本の中に多く見いだすことができます。しかもそれは、子どもたちの中には、まだ読んだことのない学生さんがいるようでしたら、ぜひ、一度は読んでほしいと思うからです。

社会・国際学群

北脇 信彦

「徳川家康」(山岡荘八著、講談社文庫、全26巻、第1巻発行1987年)

専門から離れて、あるいは電車の中で、息抜きに読む本は歴史小説です。そんな中でまた読み返したくな

理工学群

岡本 健一

「化学・意表を突かれる身近な疑問」(日本化学会編、講談社、2001年、840円)

「最近本を読む若者が少なくなかった」といわれる。本欄を書いてほしいといわれ、私は若くないが、雑用

情報学群

海老原 義彦

「五輪書」(宮本武蔵著、神子侃訳、徳間書店、1984年、1800円)

「五輪書」は宮本武蔵自身が「二天一流」について書き残したものです。昭和59年12月吉日、友朋堂にて求む

体育専門学群

野村 良和

「身体ダイアログ」(佐藤学対談集、太郎次郎社、2002年、2000円)

本書は、以下に記すような各方面の第一人者と、教育者である佐藤学氏との対談をまとめたもので、そのほとんどは既に雑誌などに掲載されたものです。

医学群

大塚 藤男

「ベルツの日記」(上、下)(トク・ベルツ編、菅沼竜太郎訳、岩波文庫、1979年、各420円)

「ベルツの日記」は外国人の見た幕末・明治の日本を記述している日記や書物の一つであり、既に古典的書物と言ってい

芸術専門学群

西川 潔

「日本デザイン論」(伊藤ていじ著、鹿島出版会、SD選書5、1966年、1890円)

パウハウス※の影響を強く受けた造形教育「構成」を学んだ私は、数学的秩序を重んじた西欧の抽象的造形を身近に感じてきた。国

そんな時「日本デザイン論」に出会った。著書の伊藤ていじ氏は建築史が専門で、1960年代中ごろにワシントン大学他の客員教



「へんないきもの」(早川いづを著、バジリコ株式会社、2004年、1575円)

生命環境学群

林 純一

この本は、普段我々が意識したり目に留めたりしないような生き物にスポットライトを当て、その特徴や生態などについて簡潔にイラスト付きで説明してい

「五輪書」(宮本武蔵著、神子侃訳、徳間書店、1984年、1800円)

「五輪書」は宮本武蔵自身が「二天一流」について書き残したものです。昭和59年12月吉日、友朋堂にて求む

そんな時「日本デザイン論」に出会った。著書の伊藤ていじ氏は建築史が専門で、1960年代中ごろにワシントン大学他の客員教



反射鏡

専門性高めて
英語を武器に

秋山和哉 (休職 2 年)

私たち日本人は、学校教育の過程で英語という外国語を学んできた。しかし、我々が今後に活かせる英語を学びとれてきたかという点については多少の疑問が残る。私は、中学校、高校、そして大学における教育体制のどこかにその改善点が見られると考えている。

最も顕著に表れている点として、大学での英語教育の専門性の欠落がある。大学では、「読む・書く」から「聞く・話す」などの新しい動きかけが見られるというのは事実である。しかし、それらを大学で教育しているのでは、卒業してからすぐに使える一つの「武器」とするのは難しいのではないだろうか。ましてや、これだけ英語力が必要とされている今日においては、より高いレベルの教育が実施されない限り、海外の英語圏の国々と肩を並べることはできないであろう。

やはり大学は、各分野に関連する英語力や、それに伴う常識や文化、やりとりなど、より実践的な how to を学ぶ場であるべきだと私は考える。そしてそのためには、基礎的な英語力



今月のテーマ 外国語教育

実践を大切に
世界へ向かう
工藤ハウィエル
明男 (国総 2 年)

言語はコミュニケーションの道具であると共に世の中の物事を制する力そのものだ。人々の間に橋を作り、使い方次第で不可能な事を可能にする恐ろしい武器にもなる。今では英語をしゃべれるようになれば、英語圏ではない国へ行っても生活できてしまう。

このような言語の性質をみると、筑波の外国語教育を受けて、グローバル化する世界へ旅しても何も学ぶことができない。それは実践が非常に少ないからだ。本学の外国語教育は学生間で文法、聴き取り、読解力を高め、学ぶことができ良いとされている。しかし、私は世界は、ものす

い、私が今まで見てきた世界と比べるとそれは実に懸念なもので、多くの日本人大学生はグローバル化する世の中で生きていけるのか疑問に思わされる程だ。

かつてイタリアにいた時、イタリア語が未熟な私は、授業の試験として空港に電話し、15分以上も及ぶ、サービスや情報を得るための会話をさせられた。ブラジルでは、ポルトガル語を覚えるだけでなく現地の口調やアクセントを手早く習得することを余儀なくされた。もし現地の人に話を受講したわけではないので、今回は英語のみに焦点を絞らせていただきます。

学芸大学における英語の授業は、筑波大学と同様に1年間の必修でした。しかし、その内容は大きく異なるものでした。

人材作りを目指しているのなら、外国語教育でもっとと学生を外国人とだけではない。筑波には何千人もの外国人がいる。世界へ旅立つ機会を増やさなければならぬ。

義形式は学科によって異なりますが、私が所属していた学科ではリーディング中心の授業を延々と行う形式でした。私はリスニングが苦手なのでリスニングをもっと学びたかったのですが、リスニングを学ぶ機会が、リスニングを学ぶ機会が、それに対して筑波大学ではリーディング・ライティング、リスニングの3つが

それぞれ1コマずつ振り分けており、集中的に学ぶことができたので、私に心は授業を延々と行う形式でした。私はリスニングが苦手なのでリスニングをもっと学びたかったのですが、リスニングを学ぶ機会が、リスニングを学ぶ機会が、それに対して筑波大学ではリーディング・ライティング、リスニングの3つが

留学生の目



王翔

日本に来て2年目となった今、この国にはもうほとんど慣れた。しかし、なぜ自分が今日本にいるのか、振り返ってみれば奇妙に思われる。

私の生まれる3年前の1978年、中国は改革開放の新局面を迎え、全体主義の毛沢東時代から脱皮し始めた。中国の人々にとって、この30年は閉鎖から開放への転換期であると同時に、戦後日本への再認識の過程とも言える。



中国で親しんだ「日流」

ニメと漫画の方に興味が高かった。最初は「鉄腕アトム」、「家なき子」、「休さん」。小学校に入ってから「ドラえもん」、「オバケのQ太郎」、「コボちゃん」、「ドラゴンボール」、「Dr.スランプアラレちゃん」、「聖闘士星矢」、「シティーハンター」など、その人気

ランランとカンカンを上野動物園に迎えた一方、中国にやってきたのは日本の映画とテレビドラマ。「君よ憤怒の河を渉れ」、「赤い疑惑」、「燃えるアタック」、「おしん」、「恐竜戦隊コセイドン」など、その人気

K、「名探偵コナン」、「クレヨンしんちゃん」など、中学校・高校に入ってからアニメをいっぱい見たが、それよりドラマの方に関心が移った。「愛と名のもとに」、「振り返れば奴がいる」、「新幹線物語 88 夏」、「将太の寿司」、「古畑任三郎」、「年・中国」

筑波時評

先日、3月25日に能登半島沖で地震 (マグニチュード M11.6) が発生し、地震動の強さは、石川県能登地方の輪島市、七尾市、穴水町で震度6強を記録した。4月12日現在の総務省消防庁の発表によると、人的被害は死者1名、重傷者29名、軽傷者298名、住家被害は全壊建物553棟、半壊902棟、一部破損7427棟に及んでいる。また、震源を中心に、住家被害のほか、道路崩落や、電気・ガス・水道などのライフラインの寸断が発生した。自主

避難をした避難者の数はピーク時 (3月26日) には2624人にのぼった。

私も3月末に現地調査を行ったが、この地震では、輪島市門前町での相当数の建物被害を中心に、穴水町、七尾市などでも古い木造家屋を中心とした被害が目立った。目視によれば、古い木造家屋であったり、1階部分が店舗となった併用住宅で、耐震上重要な役割を担う柱や壁の不足による耐震性能の不足が見られた。加えて、日ごろのメンテナンスの欠如か

能登半島地震 調査でわかる備えの甘さ 学生も家具の転倒対策を



糸井川 栄一

ら、柱など建物の構造的耐力を支える重要な部分が腐朽しているものも多く、倒壊に至ったものが散見されている。比較的新しい木造家屋では、目立った構造的な被害は見られなかった。

能登地方で過去に発生した地震としては、近年では93年2月7日の能登半島沖地震 (M11.6) がある。今回の地震は、能登半島周辺に存在する断層のうちの1つが活動したものと考えられている。新聞やテレビなどの報道では、今回の地震は「地震の発生頻度の少

中、程度の差こそあれ日本全国あらゆるところで一定規模以上の地震が発生する可能性があることが示されている。ちなみに、わが筑波大学が立地する関東地方でも、南関東を中心として、今後30年間にマグニチュード6.7~7.2程度の直下

一方で、最も住家被害の大きかった輪島市門前町の状況を目の当たりにしてみると、死亡者が1名に留まったことや、地震出火が1件も発生しなかったことは大変幸運であった。これに対して、七尾市では門前町と比較すれば家屋被害は少な

たが、程度の差こそあれ日本全国あらゆるところで一定規模以上の地震が発生する可能性があることが示されている。ちなみに、わが筑波大学が立地する関東地方でも、南関東を中心として、今後30年間にマグニチュード6.7~7.2程度の直下

たが、程度の差こそあれ日本全国あらゆるところで一定規模以上の地震が発生する可能性があることが示されている。ちなみに、わが筑波大学が立地する関東地方でも、南関東を中心として、今後30年間にマグニチュード6.7~7.2程度の直下

たが、程度の差こそあれ日本全国あらゆるところで一定規模以上の地震が発生する可能性があることが示されている。ちなみに、わが筑波大学が立地する関東地方でも、南関東を中心として、今後30年間にマグニチュード6.7~7.2程度の直下

たが、程度の差こそあれ日本全国あらゆるところで一定規模以上の地震が発生する可能性があることが示されている。ちなみに、わが筑波大学が立地する関東地方でも、南関東を中心として、今後30年間にマグニチュード6.7~7.2程度の直下

ご意見のある方は左記アドレスまで
次号のテーマは
ひとり旅
です
先
TEL 029・853・6999
e-mail shunbun@sakura.cc.tsukuba.ac.jp

reflection展

古民家に巨大なイチゴ

現代芸術と古民家の反映

さくら 民家園 「アートの棲み家」に

本学芸術研究科開設（総 合造形実習Ⅰ・Ⅱ）（担 当・國安孝昌准教授・芸 術の製作発表の場として、 「reflectionアートの棲み 家展」が3月26日～4月28 日まで、さくら民家園（つ



東方悠平さん（修芸2年）作の「ストロベリー・オ ン・ザ・ショートケーキ」（さくら民家園で）

手で触れて楽しんだ。 会場となったさくら民家 園は、江戸時代後期につく ば市上大豆屋に建てられた とされる古民家を移築した もの。日ごろから地域住民 の憩いの場となっており、 期間中には約2000人が 訪れた。

同展覧会は、現代アート を人々の憩いの場であるさ くら民家園に展示すること で、その環境と作品とが それぞれどのように反映 (reflect) したかという テーマのもと行われた。普 段のギャラリーでの展示と は違った作品製作と鑑賞が 行われることがねらいだ。

会場には、4畳の狭い座 敷に陶器でできた裸の赤ん 坊が無造作に配置された。 福島かほりさん（修芸2年

平成19年度 文部科学大臣表彰

本学から3人が受賞

生命環境科学研究科から

平成19年度科学技術分野 の文部科学大臣表彰若手科 学者賞授賞式が4月17日、 東京・虎ノ門バスターミナル 港 区で行われた。本学から

の「Humoresque」や、 障子にプラスチック製の絵 を貼り付け、光の加減や角 度によって見え方が変化する、溝口昭彦さん（同）の 「やわらかなひざし」など、 ユニークな作品が並んだ。 「open theatre」『ぐる

」では、古民家の屋根裏 で、ゆつくりと点滅する照 明の中、山田歩さん（同） がふんと姿で独創的な舞 を披露した。 展覧会の代表を務めた前 田様さん（同）は「一般の 方に、現代美術の一端を見 せることができて良かった。 子供も喜んで見ていた。

た。作家側としても、自分 の作品の見方を委ねる良い 機会になった」と話した。 子供との散歩途中で偶然 展覧会を訪れた男性は「さ くら民家園にはよく来てい たが、今回の展示は面白 かった。子供も喜んでいて 良かった」と話した。

は稲垣祐司准教授（構造生 物）、笹倉靖徳講師（情報 生物）、高谷直樹講師（生 命共存）の3人が受賞した。 稲垣准教授の受賞研究は 「翻訳伸長因子EF1 α の機能分化と水平移動の研 究」。翻訳伸長因子EF1 α は、遺伝子の中に含ま れ、細胞がタンパク質を合 成する上で重要な役割をす るもの。通常、親子間でし か移動しないとされていた が、細菌の遺伝子を観察し たところ、細菌間でEF1 α が移動していることを 発見した。 高谷講師の受賞研究は 「海産脊索動物ホヤにおけ る突然変異体作製方法の研 究」。ホヤの一種において、 転移生遺伝要素トランスポ ザンを用いた遺伝子組み換 え体並びに突然変異体の作 製に世界で初めて成功。そ の技術を用いて、ホヤの持 つ動物セルロースの意外な 機能を解明した。本研究は 非モデル生物における遺伝 子改変技術の突破口となる 重要なもので、脊索動物の 遺伝子機能や進化の解明が 期待される。

高谷講師の受賞研究は 「真菌の新呼吸発酵機構と その制御に関する研究」。 高谷講師は今回の研究で、 これまで呼吸に酸素を用い ない嫌気エネルギー代謝の解析 を行った。その結果、カビ の生育制御技術における発 展のための基盤を作ること に成功した。



松本 肇

尿病患者にB&Bの漫画 を聴かせて、笑いで血糖 値の上昇を抑えられると いうユニークな実 験も試みている。 本書は、村上氏が 遺伝子の仕組みを わかりやすく説明 しながら、人の生 きる道を説いた啓 蒙書である。 私が本書を推薦 する最大の理由 は、本書に貫かれ た東洋的なものの 見方を尊重する態 度で共感するから である。 科学上の大発 見、大発明は、表 面に出てこないナ イト・サイエンス（夜の 科学）から生まれるとい い、無用なものもまた役 を行った。その結果、カビ の生育制御技術における発 展のための基盤を作ること に成功した。

共生の精神 遺伝子で説く

生命の暗号

村上和雄著

に立っているという。こ こに述べられているの は、まさに「荘子の無用 の哲学」のひとつであ る。 村上氏は、人間を超え た存在を「サムシング・グ レート」と名づけ、科学 と宗教の真摯な対話を説 いている。また、生物は 優勝劣敗で進化してきた のではなく、互いに助け 合いながら進化してきた という「共生的進化論」 を紹介し、どちらかを捨 てるのはなく、両方を 生かす共生のやり方が自 然なのだと述べてい る。一つの価値観をほか に押しつける傾向にある 現代社会で、村上氏の言 葉を真剣に考える必要が ある。（サンマーク出版、 1600円）（文芸・教授



私は海洋や湖沼などの 水圏における生物の代謝 と、それによって生ずる 物質の循環過程を研究対 象としています。私の姓 には「さんずい」があり ますから、私の研究対象 である海や湖とは、生ま れながらにして結びつい ていたのかも知れませ ん。

私が研究の対象として 水圏を意識したのは、高 校で所属したクラブ活動 で湖の生態系を調査した のが始まりです。大学で

価値観を揺るがす変化

「生物」と「物質」 つなげる

きたと感謝しています。 指導頂いた先生の薦 めで、他大学の大学院へ と進学しましたが、そこ は生態学ではなく、地球 科学を中心とした研究室 でした。それまでは生 物にとっての意味を明ら

評価するか、物質側から 評価するかを明確にし て 研究を進めなければなら ない」という意識が当時 の私には強くあり、その 答えが出ないまま苦しく 過ごした月日は今でも忘 れられません。



濱 健夫

ります。これは時として かなりの苦しさを伴いま すが、それを乗り越える ことで新たな方向性が見 つかれるのではないでし ょうか。同じレールの上を 進むだけではなく、異 なった価値観の場に身を

はま・たけお 1952年生まれ。生命 環境科学研究科生命共存 科学専攻教授。東京大学 理学部生物科学専攻 卒、名古屋大学理学研究 科大気水圏科学博士前期 課程修了、同博士課程中 退。専門は水圏生態学、 生物地球化学。



天上大風 春空に響く伝統の音色

毎年春と秋に、伝統文化 系サークルが目ごの活動 の成果を合同で発表する 「天上大風」が4月29日、

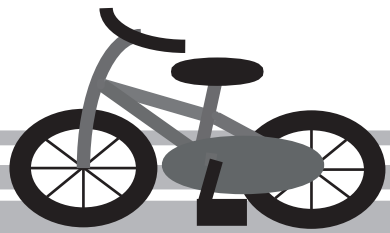
開学記念館で開催された。 12回目を迎えた今回は邦 楽部、書道部など6つの団 体が展示や発表を行った。

訪れた約2000人の観客 は、振る舞われた麦茶を飲 みながら、春の陽気の中、 伝統芸能に触れ楽しんだ。 オープニングでは、「と きめき太鼓塾」が和太鼓の 演奏を行い、勇ましいパ フォーマンスと音色で会場 を沸かせた。「津軽三味線 倶楽部無絃塾」は、ソーラ ー節や秋田音頭などテンポ の良い曲を披露した。 伝統文化について指導を 受け、実際に体験できる体 験コーナーは、多くの人々 を集めた。来場者は部員の 説明を熱心に聞いていた。 実行委員長の中川翔子さ ん（比文2年）は「予想ど けりお客さんがたくさん来

つくば芸術祭 センター4会場で 雨天も来場者多数 今年で32回目となるつ くば芸術祭が、5月3～6日 にかけて、つくばセンタ ー付近の4つの会場で開催さ れた。本学の芸術系サーク ル連合に所属する22のサー クルが参加した。最終日の 6日は雨天のためライブ演 奏は中止となったが、期間 を通してライブ演奏や展示 を通してライブ演奏や展示 企画などで、来場者を楽し ませた。 5日にアイアイモール前 で開催されたライブ演奏で は、アカペラサークル「D

oowood」やジャズ愛 好会などによる演奏が行わ れた。会場には本学生だけ でなく、子供連れやお年寄 りまで、多くの地域住民が 訪れた。 エキスパート横のさ くら民家園では、茶道部和 敬清寂社による茶会と、邦 楽部による琴や三味線の演 奏が行われ、遠くは長野や 京都から約60人が訪れた。 茶会では、茶道部員が茶室 の内装の趣向や茶碗の銘な どを細やかに説明した。 茶会に参加した鄭婦茅さ ん（日付特別聴講生）は「足 が痛くなったけれど、お茶 も和菓子もとてもおいしか った」と語った。

現場の今をみつめる



筑波大生の生活に欠かすことのできない自転車。初めてつくばにきた学生はあまりの自転車の多さに驚いたことだろう。それだけ多くの人が利用する自転車には、駐輪問題や放置自転車、盗難とさまざまな問題がついて回る。しかし、乗り方のマナーさえ守れば、優れた機動性を持つ自転車は強い味方となる。そのように学生生活の一部となっている自転車に改めて目を向けてみた。（本紙・藤井沙織Ⅱ社会学類・水田武人Ⅱ日本語・日本文化学類、篠崎真希Ⅱ国際総合学類、関田航Ⅱ体育専門学群）

駐輪場問題

自転車は広い学内を移動するときの必需品だ。学生のほとんどが自転車を所有している。本学が開学する2年前、1972年の計画では、宿舎地区に3400台、学群地区に6000台、そしてペデストリアン周辺にも適切に配置する予定だった。しかし現在、駐輪場やペデストリアンの周辺には、駐輪場に停めきれなかった自転車がはみ出して停められており、駐輪場の収容台数の不足がうかがえる。

乱雑に停められた自転車は、春になると毎年のように自転車の渋滞を引き起こす。通り道がふさがれ、交



休み時間に渋滞が起きる（第一エリアで）

春に多発する渋滞

問題は駐輪場の配置

通の流れが悪くなると徒歩に自転車も停められず、移動した方が早いという状況で、自転車の渋滞を悪

放置自転車

春になると学内で目につくのが無数の放置自転車だ。自転車を個人で処分する場合に1台当たり800円かかるため、卒業した4年生が自分で処分せずに学内に放置していったものが多い。中には盗難車もある。

放置自転車は特に第三エリアや宿舎地区に集中している。大学側では年に1度、夏から秋にかけて学内の放

無責任な放置自転車 100万円近い処分費用

置自転車の回収を行って1800台にも上るといわれる。回収した自転車の処分には96万5000円という莫大な費用がかかるうえ、各エリアの事務職員や警備員が回収にあたるための人的負担も大きい。

学内では放置自転車の解決策としてリサイクルを検討している。しかし放置された自転車の多くが劣化していて、そのまま



放置されて荒れる自転車（大学西のバス停で）

化させるという悪循環が起きている。特に朝は、外国語センター付近や大学会館前、第一エリアが混雑する。毎朝駐輪場の整備をしている警備員は「移動するときに時間に余裕がなく、自転車を雑に停めていく人もいる。ゆとりをもって乗ってほしい」と話す。

盗難対策

584件。この数字は、05年10月から06年9月までの約1年間に、本学生が被害にあった自転車、バイクの窃盗の被害件数だ。この期間における全被害件数の91パーセントを自転車、バイクなど乗物の盗難が占める。

大学周辺では、バスなどの公共交通機関が発展途上にあることや、キャンパスが広大なこと、大学の構内や周辺に学生が多く住んでいることなどから、多くの学生が自転車を高い頻度で利用している。このように「一本学生の足」と言える自転車を盗難から守るための対策としては、どのようなことがあるだろうか。

障害のある学生の視点

自転車の駐輪マナーや運転マナーを最も客観的に見ているのは、自転車に乗らない人や、身体に障害を持つ人ではないか。視覚障害を持つ、福地健太郎さん（人間4年）は、入学当初、本学の自転車交通量の多さに驚いたという。

福地さんは2歳から全盲の障害を持った。普段は白杖（視覚障害者が持つ白い杖）を使い、春日4丁目にあるアパートから一人で歩いて通っている。入学して間もないころは通学や移動で苦労したという。不慣れた道を通う上、授業の間の休み時間は15分しかないため、移動も間に合わなかった。最近では慣れ、苦労することはあまりないという。

福地さんは、今でも本学の自転車の多さを強く感じるといふ。主に第二エリア付近で行動することが多い

テッカーを貼るのも防犯の上で有効だ。これまでに挙げた対策は個人レベルでの対策だ。では、本学ではどのような対策を講じているのだろうか。

学内と大学周辺の防犯、安全対策を考えるセーフティプロジェクト（リーダー：吉武博通副学長、総務・企画担当）で学内パトロール・地域連携の世話人を務める足立和隆准教授（体育）に

夜の見回りを強化 意識改革で解決へ

午後7時に行っていたパトロールを午後9時から午後

は、12〜13分かけて通う道のりを、20分かけて通った。アメリカではこんなに自転車はなかったのだ、びくびくしながら歩いていたと当時を振り返る。

点字ブロック上の駐輪

自転車マナーの改善を

福地さんの高校では、駐輪場以外の場所に自転車を駐輪マナーの向上は期待

スロープも危険を感じる箇所の一つだ。大学会館前を通るとき、歩行者は主に売店横の階段を利用するが、福地さんはスロープを利用することもある。坂の前後からスピードを出して下っている自転車に接触しそうになるともあるという。

福地さんは一昨年9月から1年間休学し、ワシントンDCなどに留学した。留学先では自転車が多く利用されていたため、帰国して復学した時は自転車が怖かったという。当時

点字ブロックの上に停められた自転車（第二エリア周辺で）



点字ブロックの上に停められた自転車（第二エリア周辺で）

もある。キャンパスに自転車があふれ、あまりに自転車の密着した生活を送っているためか、安易な気持ちで自転車を盗む学生があとを絶たない。吉武副学長は「被害者は盗難にあったと思っているのに、加害者側の罪の意識は希薄。無断借用も刑法犯という認識を持つべき」と話す。今後は、フレッシュマンセミナーやクラス担当教員を通じて、直接学生に呼びかけていく予定だ。

できないからだ。「つくばでは自転車が絶対必要。だからこそ、徹底した意識を持つてほしい」と話す。

自分が自転車に乗っているときは、迷惑な行為をしていないことを自覚できないことが多い。友達と話しながらの運転や、携帯電話を使っているから意識を怠るという必要があるそうだ。



坂道状にイメージされた対向車線の様子

第三エリアから一の矢
宿舎へと向かう西ループ
の交差点に、実験用の道
路監視カメラが5基設置
されている。これらの監
視カメラがどのように使
われているのか知る人は
少ないだろう。



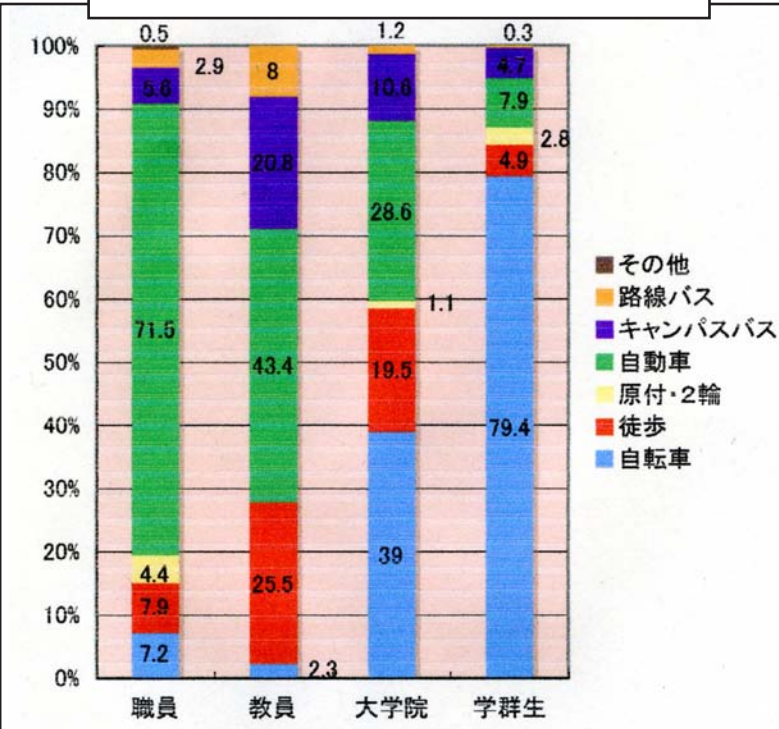
大田友一教授(知機)
は、道路監視カメラを
利用したITS(高度道
路交通システム)の構築
に関する研究を行って
いる。

これまでコンビニや工
場に設置されてきた監視
カメラは、CCTV(タ
ロースド・サーキット・
テレビジョンと呼ばれ
設置した一部の人が見
ることができない非常に
閉鎖的なものだった。

自転車問題



通勤・通学交通機関分担率 (2006年)



ワークにつながった監視
カメラ網を構築できると
いう。このことは、監視
カメラを設置した側だけ
ではなく、誰もが自由に
監視カメラの映像をイン
ターネットを介して見る
ことができるようになる
ことを意味する。このよ
うな開かれた監視カメラ
網の登場を前提として、

道路システム 高度化

開かれた監視カメラ網へ 道路映像を運転手が共有

View」だ。

「Navi View」

は、道路脇に設置した道
路監視カメラの映像を加
工して、車の後方上空
を追尾する仮想カメラで
撮影したような鳥瞰映像
を、車についたモニター
でドライバーに提示する
システムだ。ドライバー
の運転する車が常に画面

大田教授の研究は進めら
れている。

高速道路に設置された
道路監視カメラの映像
を、道路管理者だけでな
く、道路を走行する車両

中央に表示されるため、
ドライバーにとって周囲
の状況の把握が容易にな
り、より安全な走行が可
能になる。

「Navi View」
の一般道路版として大田
教授が2001年に提案
したのが、交差点におけ
る右折時の事故を防止す
るための視覚支援システ
ムだ。

交差点での右折待ちの
ときに、対向車線の大き
な車両に遮られて、その
後方から交差点に進入し
てくる車両が見えないこ
とがよくある。しかし、
信号機に設置した道路監
視カメラからは、対向車
線の状況は容易に見渡せ

これらの「Navi V
iew」の実験のために、
本学構内の西ループの交
差点に04年から道路監
視カメラを設置し、実際
の車による実験を進めて
いる。大田教授は、近い
将来運用されるであろう
これらのシステムについ
て、「人間の目の力とコ
ンピューターの目の力を
合わせることで、人を支
援する仕組みができる」
と語る。
(本紙・水田武人「日本
語・日本文化学類」)

交通環境 WG

自転車の交通環境につい
ては、キャンパスリニュー
アル報告書でも、交通シス
テム計画の中で最も重要な
課題の一つとなっている。
これを受けて施設部は、昨
年10月、「自転車交通環境
ワーキング・グループ」(W
G)(座長＝石田東生教授、
社シス)を設置した。

自転車専用道路の設置 教職員と学生で考える

同WGは、施設部教職員の
ほか、都市計画や建築デ
ザインを専門とする教員、
セーフティプロジェクト、
全代会によって構成されて
いる。教職員と学生が一体
となり、学内の自転車交通
環境の改善に向けて取り組
んでいる。

ており、学生の利用率が高
かった。
このように本学では自転
車の利用が一般的になって
いるが、必ずしも自転車
が使いやすい環境である
とは限らない。01年に中央
図書館で行った調査によ
れば、ペDESTリアンにお
ける、自転車交通問題の
原因に、1972年の時点
では、1972年の時点
では、1972年の時点
では、1972年の時点

の、ペDESTリアン周辺に
適切に配置されていない駐
輪場、それに伴う違反駐
輪、や盗難の誘発―など、自
転車交通環境を抜本的に
解決する必要があるとい
う。環境を整える必要が
ある」と話す。

現在のペDESTリアン利
用では、50棟や第一エリ
アは2階に位置するペデス
トリアンから建物に入る
が、第二、三エリアは1階
から建物に入る設計にな
っている。1972年の時点
では、1972年の時点
では、1972年の時点

いまは雑誌にミステ
リー小説を書く仕事をし
ています。まあ、それほ
ど才能には恵まれていな
いため、なかなか筆は進
みません。アイデアを考
えては壊し、また考え
るの繰り返しです。単
行本も、現在のところ
一冊しか出版しておら
ず、来年あたりやっと
次を出せるかな、と
いった程度です。



本嫌いから物書きに

ミステリー作家 長岡弘樹 さん

筑波での生活は、
自分に大きな変化をもた
らしてくれました。あの
4年間に、いまでも心の
中で「ありがと」と言
い続けています。
(平成2年度社会学類卒)



卒業生からの 手紙

子供のころ、読書感想
文ほど嫌な宿題はありま
せんでした。本を読むこ
と。文章を書くこと。そ
の二つが、私にとって最
も苦手なことでしたか
ら。原稿用紙のマス目を
埋めるどころか、目にし
た文字を頭に入れる段階
でもう四苦八苦です。
当然、持っている本と言
えば漫画だけでした。

そんな私でしたが、筑
波を卒業するころ、借り
ていたアパートには、活
字の書籍が何百冊と山積
みになっていたのです。
もちろん、中にはたまた
まの積読本(つんどくぼん)
もありましたが、ほとん
どは一字一句ちゃんと目
くして、何か読んでい

なっていました。

活字を追うのが苦痛でし
た。しかし習慣とは不思議
なものですね。ほどなく
して、何か読んでい

容量を約4割超えている。
そのため、混雑や安全性
の教職員と学生を対象に
通勤・通学に利用してい
る交通機関の分担率を調査
した(＝上図)。それによ
ると、職員の7.2%、教
員の2.3%、大学院生の
39.0%、学群生の79.4%
が、自転車を交通手段とし
て利用している。

キャンパス交通計画で駐輪
場の需要を少なく見積もり
過ぎたこと、施設整備の不
足、部分改良により走路が
狭くなったり、スピードが
出過ぎることなどがあげら
れる。場当たり的な施策で
はもう間に合わない。
現在、同WGでは、ルー
プ道路の内側に自転車専用
道と自動車専用道を併走
する形で、歩行者、自転
車、自動車ともに安全で快
適な移動を実現するための
検討を進めている。石田教
授は「自転車専用道の設置
と、専用道から建物へと移
動する途中の駐輪場の整備
など、環境を整える必要が
ある」と話す。

ペDESTリアンとはもとも
と「歩行者専用道」を意味
する。「歩行者はペDEST
リアンに、自転車はルー
プ道路に――」自転車専用
道の設置には、設置する空
間や移動経路のチェックの
ほか、費用など検討すべき
項目が多くなり、実現には
時間がかかる。今後は、WG
や全代会、施設部が自転車
の交通量、降車後の人の移
動経路、ペDESTリアンの
横断などを調査し、う
え、基本計画を作り、公
開を開く見通しだ。

茗溪山脈 体育・スポーツ列伝

竹内善徳

今や国際的競技となった柔道。1964年に開かれた東京五輪で正式種目となって以来、世界的に普及し、現在187カ国が国際柔道連盟（IJF）に加盟している。その陰には、本学の前身である東京高等師範学校の校長で、近代柔道の祖、嘉納治五郎師範ら先人たちの多大な努力がある。



アトランタ五輪での竹内（左から2人目）
善徳本学名譽教授（体育）は、柔道の国際化に貢献した柔道家の一人だ。現役時代には全日本選手権で優勝。本学の教授に就任し、国

際柔道連盟副会長、アジア柔道連盟会長などを歴任するなど、競技、教育双方の面で活躍した。また、海外での指導活動や審判活動を行うと共に、公認審判制度の導入などに取り組んだ。

■競技者としての竹内
竹内は37年、北海道札幌市に生まれた。56年に本学の前身である東京教育大に進学し、柔道部の副主将を務めた。主将は東京五輪金メダリストの猪熊功。荒武者タイプの猪熊に対し、竹内は理論家タイプであったという。卒業後は大分県の高校教諭などを経て、62年に教育大体育学部専攻科に進学した。同年開催された無差別級の全日本選手権では、185センチの長身から繰り出す大外刈りや釣込腰を武器に優勝した。当時、世界選手権は不定期の開催で、柔道は五輪種目に認定されていなかった。「現在ならば、間違いなく世界チャンピオンクラスだろう」

世界を飛び回った柔道家

公認審判員制導入に尽力

と、小俣幸嗣柔道部部長（体育・教授）は語る。

■国際的な指導者へ
現役を退いた後、69年に教育大講師に就任。76年には本学体育科学系助教授（当時）に就任し、教育者・指導者としての活動を開始した。

トを張った「ホテル」しかないような地域に赴いた。（体育・教授）は語る。

その後、国際柔道連盟副会長や講道館国際部長などの要職を務めた竹内は、近代スポーツにとって必須とも言える、公認審判員制度の柔道への導入に取り組み。当時、国内の大会では、慣習として、高段位者が審判を行っていた。しかし竹内は、柔道の国際的な発展のためには、柔道の本家日本に、明確な基準による審判制度の導入が必要であると考えていた。

制度導入の検討を開始したのが89年で、制度が施行されたのが90年。その間わずか1年だが、A、B、Cの3ランクのライセンスと、審判員の質の向上を図るための研修制度や試験制度が整備された。Aライセンスを取得した審判員は、現在全国に約700人いるという。

■「人望の柔道家」
竹内の活動は、各方面で高く評価されている。アジア柔道連盟の会長選挙では、26対10で当選。「嘉納治五郎の子孫の嘉納家以外から日本人が選出されたのは初めて。竹内先生の人望の厚さを象徴している」と、小俣教授は語る。

その後も、柔道の国際化に尽力を重ね続けた。ちょうど1年前の06年5月14日、アジアジュニア柔道選手権大会のために訪れていた韓国の済州島で、心不全のため急死。享年68。戦前、東京五輪招致に成功した帰路、船上で客死した嘉納治五郎師範のような、死の直前まで世界を飛び回り続けた人人生だった。（本紙・齋藤竜太比較文化学類）

関東学生春季リーグ

女子1位、男子4位で推移

男子 因縁の早大に競り負け

ハンド

関東学生ハンドボール春季リーグが4月14日から川崎市とろきアリーナなどで開催された。5月6日現在、男子は4勝2敗1分けの4位、女子は6勝無敗の1位となっている。

開幕戦から3連勝した本学男子は4月28日、リーグ暫定1位で、同じく3連勝していた暫定2位の早稲田大と対戦した。

序盤は早稲田が優位に試合を進めた。本学は開始から4連続得点を許し、開始13分には1-6まで離された。



早稲田戦でシュートを放つ銘苅敦（体専4年）

た。しかし、15分からは4連続得点を奪うなどし、一たびハンドで前半を折り返した。

後半に入り、本学は再び5点差をつけられるも、開始9分から24分までは失点を1点に抑え、逆に主将の松永真治（体専4年）の3連続得点などで逆転。残りの5分で22-20と2点リードした。流れを掴んだかに思われたが、「厳しい試合を切り抜けてきた分、早稲田は土壇場で強かった」と大西武三監督（体育・教授）。

早稲田に3連続得点を許し、再逆転された。残り時間3秒で速攻からシュートを放つも、相手キーパーに阻まれ、22-23の1点差で敗れた。

男子は昨年の春季大会でも、全勝同士の対決で早稲田と当たり、1点差での逆転負けを喫している。

大西監督は「ゲームリダーの海道衛秀（平成18年度体専卒）が抜けた今年春の段階ではうちはまだ未

大学 首都春季リーグ

6勝1敗で勝ち点3

坪井 完封で初戦を飾る

野球

6チームで戦う07年度首都大学野球春季リーグ戦が4月14日、平塚球場（神奈川県・平塚市）で開幕した。

秋春連覇を目指す本学硬式野球部は、第3節を終え、5月7日の時点で6勝1敗、勝ち点を3としている。

投手陣は、エース・坪井俊樹（体専3年）が今季も好調。二戦目・先発の岩崎晃洋（同3年）も白星を重

ねている。坪井は、武蔵大との開幕戦を完封勝利で飾ると、帝京大との一戦目こそ崩れたものの、あとの登板では完投を果たしている。守備では、中堅手に小野晃義（同4年）が入り、追加し、武蔵大を大きく突き放した。坪井は無四球完封、7-0で初戦をものにした。

第5節・東海大戦は5月26、27日に平塚球場で行われる。川村卓監督（体育・講師）は「目の前の一戦一戦、一球一球に対し、できることを全力で取り組む」と意気込んでいる。

「Sportiva Tsukuba」好発進

サッカー

つくば市を拠点とし、本学蹴球部の学生が所属するサッカーのクラブチーム「Sportiva Tsukuba」が、4月1日から始まった全国クラブチームサッカー選手権茨城大会で優勝した。

このチームは昨年6月に設立された「つくば市にプロサッカークラブをつくる会」が中心となって運営。

同チームには本学蹴球部の学生23人が参加し、一般選考会で選ばれた茨城県内に住む他大学の学生3人などを目的としている。



お披露目式で。蹴球部員が多数を占める



シュートを放つ木村励（体専4年）

男女とも連覇ならず

バスケット

第42回筑波大学・日本体育大学バスケットボール定期戦が代々木競技場第2体育館（東京・渋谷区）で開催され、1350人の観客が来場した。男女各チームずつで対戦し、本学はともに、Bチーム戦では勝利

したものの、Aチーム戦では惜敗した。

昨年度インカレ覇者との対戦となった本学女子は、試合開始当初はリードを保ったが、第2ピリオド残り約3分、3ポイントシュートで追い抜かれる。終盤、前村かおり（体専4年）の3ポイントシュートを皮切りに攻勢をかけた。しかし及ばず、76-77で惜敗した。

関東2部に所属する本学男子と、一部所属の日本大男子との対戦では、前半を39-35で折り返した。しかし後半に入ると、日本大のねばり強いディフェンスに阻まれ、63-79で敗れた。

からの企業・団体スポンサーを募集している。詳しい情報は同会ホームページ <http://www.tsukuba.co/soccer>

現在最下位も復調
関東大学サッカーリーグが4月1日から国立西が丘サッカー場（東京・北区）などを会場に開催され、5月11日時点で8試合終了した。本学は今シーズンに入って1勝6敗1引き分けと順位も最下位だが、調子は上がってきている。

同リーグの残りの試合について浅井武監督（体育・准教授）は「守備を固め、その上で攻撃を組み立てることが課題だ」と話した。

試合結果は以下の通り▽筑大0-2法大▽筑大0-1明大▽筑大0-1流経大▽筑大2-3国士館大▽筑大1-1駒大▽筑大1-0東学大▽筑大2-4早大▽筑大2-3青学大

民間に業務を委託

利用客減に歯止めを

全代会の安定目指す

ゴミを拾う「地球の味方」

「あさがお」プロジェクトでは、約1時間のゴミ拾いの後、お疲れ様でしたという掛け声とともに、必ずメンバー全員で小さなジャンプする。「跳んでいる一瞬だけは、拾ったゴミと自分自身の重さが、地

第33回やどかり祭

5月22日―26日交通規制

第33回宿舎祭（やどかり祭）の開催に伴い、5月22日から26日まで、交通規制と駐車規制を行う。規制の時間、場所は次の通り。

◆通行禁止
平砂・追越間宿舎内道路
25日午後3時―10時
26日午前8時―午後10時半
ゆりの木通り
25日午後5時―10時
26日午前11時―午後10時半

◆自転車通行禁止
平砂学生宿舎地区および一部の追越地区のペデストリアン
25日午後5時―10時
26日午前11時―午後8時半

◆駐車規制
仮設追越西駐車場
22日午後6時―27日午前0時
平砂駐車場、仮設平砂西駐車場
23日午後6時―27日午後5時
仮設西地区駐車場
25日午後6時―27日午前0時

26日の本祭が雨天順延した場合、規制は1日ずつ延期される。なお、各駐車場の代替駐車場としては、野球場隣の南地区駐車場を利する。

学園祭ポスター募集

テーマは「新」筑波世代

学園祭実行委員会では、回筑波大学学園祭「雙峰祭」（開催日）10月6・8日（「テーマ」）「新」筑波世代の4つが記入されていることが条件。また完成品には、交通アクセス、実行委員会の連絡先などの情報が記載される。採用者には図書カード6000円分が贈呈される。

マスコットは、サイズがA4（210ミリ×297ミリ）で、白黒であることが条件。採用者には図書カード3000円分が贈呈される。

雙峰祭企画募集

5月14日から第1次受付

今年の雙峰祭は10月6日から8日までの3日間開催される。これに向け学園祭実行委員会は参加企画の募集を行う。

第1次受付は、5月14・16の両日、午前11時35分から午後12時10分まで1C205教室で、午後6時15分から午後8時半までは1C306教室で行う。大電

催事

展示会

◆「木版画の詩人 川上澄生展」5月27日まで、茨城県立つくば美術館で。

川上澄生は明治28年、横浜生まれ。青山学院高等科を卒業後、北米を遊歴。帰国後、昭和17年まで旧制宇都宮中学で英語教師をしながら木版画の制作を続け、

演奏会

◆筑波大学管弦楽団第61回定期演奏会 5月19日午後2時から、ノバホールで。

◆筑波大学吹奏楽団第57回定期演奏会 6月9日午後1時半からノバホールで。

2部構成で、曲目は▽A・L・ウェバー「オペラ座の怪人」▽B・ウィラン「リバーダンス」▽G・ガージニン「ラフディ・イン・ブル」ほか。

開場は午後1時。前売り券400円、当日券500円。チケット取り扱いは友朋堂書店、ノバホール、共栄堂ウララまたは大学会館書籍部で。

Who's Who?

プールで人命救助

黒田 梨絵 さん（看護医療4年）



今年3月、本学史上初めての人命救助による学長表彰があった（本紙4月号に記事掲載）。その主役となったのが黒田梨絵さん（看護4年）だ。黒田さんは東京出身。2000年に東京大学を卒業した後、6年間東大病院で看護師として勤務した。

勤務6年目に、退職を決意した。「看護師は女性の世界で、独特の雰囲気がある。医師との関係や、過酷な労働環境などもあり、ストレスの多い現場になってしまっ」と話す。看護師の職場環境を改善した

溺れた学生の命救う 目標はよりよい看護

んは、事故が起こった時、たまたまの場に居合わせた。黒田さんが駆けつけ時には、溺れていた学生の意識はなく、チアノーゼで全身が真っ青

隠せない学生たちの中で、黒田さんは冷静に応急処置を施した。学生は大学病院に運ばれ、一命を取り留めたが、黒田さんの初期治療がなかったら、死に至っていた可能性もあったという。

黒田さんは今回の事故の他に、昨年3月にも飛行機の中でけいれんを起こした1、2歳くらいの児童を助けた。「飛行機では寝ていたのに、職業病なのか、アウンスにはすぐ反応してしまっ」と苦笑する。

将来は、研究者になりたいという。「大学院に進学し、看護師の職場環境をよくすることから、よりよい看護を目指していきたい」。多くの救助の経験を生かし、現代医療をよくしようと、現在も邁進中だ。（本紙・関田航二体育専門学群）

新人記者募集

筑波大学新聞編集部では、新人記者を募集しております。学類、年次は問いません。2年生の方も大歓迎です。

お問い合わせ＝029-853-6699（編集部）shinbun@sakura.cc.tsukuba.ac.jp 編集会議：毎週月曜

次号は

6月18日（月）

発行予定です

大学会館書籍部ベストセラー

1	大正デモクラシー	成田竜一/岩波書店
2	一瞬の風になれ 1	一いちニツイター 佐藤多佳子/講談社
3	ウケる技術	小林昌平・山本周嗣・水野敬也/新潮社
4	大人のための算数練習帳 中学入試編	佐藤恒雄/講談社
5	一瞬の風になれ 2	一ヨウイー 佐藤多佳子/講談社
6	一瞬の風になれ 3	一ドン 佐藤多佳子/講談社
7	こんなに役立つ数学入門	広田照幸・川西琢也/筑摩書房
8	右翼と左翼	浅羽通明/幻冬舎
9	ジェネラル・ルージュの凱旋	海堂尊/宝島社
10	ひとり日和	青山七恵/河出書房新社

筑波自然図鑑

◇フデリンドウ◇



4月上旬、桜の開花と前後して、フデリンドウも紫色の可憐な花を二重に咲かせた。可憐なのは草丈が小さいわりに大きい花をつけるためである。

ところで、本種は越年草であり、花を咲かせた後は死ぬ運命にある。したがって、彼らは体内の養分を、精一杯開花や果実の形成に費やし、命を犠牲にして子孫を残そうとする。人間にとっては目を和ます程度の存在かもしれないが、彼らだって必死に生きているのである。（写真・文 田中弘毅 生物3年 野生動物研究会）

4月の1位は、成田竜一の「大正デモクラシー」。2位は、佐藤多佳子の2007年本屋大賞受賞作「一瞬の風になれ第一部」。特に強豪でもない春野台高校陸上部に入部した、幼なじみの二人のスプリングスター。ひたすらに走る、そのことが、二人を、そして部を変えていく。とびきりの陸上青春小説、三部作。催事は、東京大学出版会フェア、Jリサーチ出版フェア（いずれも15%オフ、6月1日まで）